

次なるステージに向けて

短期大学部保育科、歯科衛生科そして専攻科保育専攻の卒業生・修了生の皆さんおめでとうございます。それぞれ所定の課程を修了し、今日の日を迎えられたことを短期大学部教職員一同、心よりお祝い申し上げます。

皆さんは、幼稚園教諭、保育士、歯科衛生士という国家資格を取得し、社会に貢献することを目的として、保育科、歯科衛生科に入学されました。また、保育について、より高度な専門性と知識を身につけるために、専攻科保育専攻に入学されました。それぞれの目標に向かっての学生生活はいかがでしたか。楽しかったこと、辛かったこと、様々な出来事があったことと思いますが、晴れて本日の卒業式・修了式を迎えられたことは、入学して以来、皆さんが一つ一つ積み重ねた努力の結果であると思います。

保育科は第62回卒業生となります。皆さんの多くは、2年間で保育士資格、幼稚園教諭二種免許状を取得されました。4月からは、幼稚園、保育所そして児童福祉施設等で、本学にて学んだ保育の理論と実践をつなぎながら、子どもに寄り添う保育者として活躍されることを願っております。

歯科衛生科は第61回卒業生となります。皆さんは3年間に亘る学内での講義、実習、そして学外での臨地臨床実習を終え、3月2日に行われた歯科衛生士国家試験を受験し、3月26日の合格発表を待つばかりです。歯科診療所、総合病院等で、本学にて培った医療・保健・福祉の現場でも活躍できる、プラスαの力を持った歯科衛生士としての活躍を期待します。

専攻科保育専攻は第30回修了生となります。皆さんは1年間という短い期間で、緊密なカリキュラムをこなし、保育内容や保育環境についての考察や研究に取り組み、より高度な専門性と知識を身につけました。専攻科での学びをいかし、各職場や組織のリーダーとして躍進されることと思います。また、保育専攻の皆さんの中には、学士の学位取得を目指して努力される方もいらっしゃると思います。ぜひ目標に向かって頑張ってください。

短期大学部各科は、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針、修了認定の方針）を定めています。卒業・修了を迎えられた皆さんは、ディプロマポリシーに記されてある能力を身につけた人材として認められたことになります。身につけた力を基に、さらに研鑽を積んで、次のステージへ進んでください。

幼稚園教諭、保育士、歯科衛生士を取り巻く環境は日々変化しています。次のステージに進んだ先には、いくつもの越えなければならない壁が、皆さんの前に待ち受けていると思います。その壁を乗り越えることは容易ではありませんが、乗り越えた先には「新しい景色」が広がっています。本学で身につけた力を基に「新しい景色」を見るための挑戦を続けてください。時として、自分だけでは越えられない高い壁が立ちはだかることがあります。その時は、一人で抱え込まず、本日一緒に卒業する仲間と、母校である本学を思い出してください。口腔の健康に関わる者、保育に関わる者として、同じ志を持つ友人は、共感できる仲間であり、何にもかえがたい大切な存在であると思います。また、本学はこれからも皆さんを応援し続けます。

卒業・修了を迎えられた皆さんは、人生の大きな節目を迎えられましたが、国家資格を取得し、専門職として社会に貢献し続けるためには、知識・技術のアップデートが必要であり、学び続けて頂きたいと思います。勉強会、学会、研修会、講演会等で皆さんに会う機会も多いと思います。皆さんが卒業・修了後に社会で活躍する姿を楽しみにしております。そして、建学の精神である「感謝のこころ 育んで いのち輝く 人となる」を胸に刻んで、これからの人生を歩まれることを、心よりお祈り申し上げます。

令和7年3月14日

短期大学部長 小澤 晶子

